

日本の文化を世界に発信するための 国立京都国際会館の機能強化等について

【担当省庁】国土交通省

京都府・京都市共同提案

世界の人々へ日本の文化芸術の魅力を世界へ更に発信するためにも、国際会議場の国際標準である5,000名規模の多目的ホールへの一刻も早い拡張整備をお願いしたい。

また、地方への国際会議の誘致や地元開催行事等に係る経費及び宿泊施設等の整備に対する支援制度の創設をお願いしたい。

【現状・課題等】

- 近年の国際会議の大規模化等により、十分なスペースが確保できず、京都での開催を希望されていても断念するケースが見受けられる。

開催年	国際会議名	要請スペース	開催地
平成25年度	国際小児科学会	5,000人規模の会場スペース 12,000㎡の展示場	オーストラリア
平成25年度	国際腎臓学会	3,000人規模の会場スペース 10,000㎡の展示場	香港
平成26年度	世界心臓学会	5,000人規模の会場スペース 10,000㎡の展示場	オーストラリア
平成28年度	国際心理学会	5,000人規模の会場スペース	横浜
平成29年度	国際眼科学会	5,000人規模の会場スペース 5,000㎡の展示場	東京
平成30年度	世界心臓学会議	5,000人規模の会場スペース	ドバイ
令和元年度	世界肺癌学会	5,000人規模の会場スペース	トロント
令和2年度	国際インプラント学会	5,000人規模の会場スペース	シンガポール

- 地方が主体となって行う国際会議(MICE)誘致や開催行事に係る経費及び施設整備費は全て地方が負担している状況であり、財政的な負担が大きい。

京都府 の担当課	知事直轄組織 国際課(075-414-4313) 商工労働観光部 観光事業推進課(075-414-4878)
-------------	---

■MICE実施に係る国の支援の状況

- ・ローカルホストサポーターニングスキル強化事業
MICE誘致の司令塔であるコンベンションビューロー等の更なる機能高度化を目的として、海外有識者の視点・ノウハウを活用し、コンベンションビューロー等のローカルホスト等に対する的確なサポーターニング力の強化支援を実施(支援都市:仙台市、千葉市、名古屋市、京都市、広島市、北九州市)
- ・マーケティング機能高度化支援事業(対象:グローバルMICE都市以外)
将来的に日本のトップランナー都市の国際競争力の上げを図ることを目的として、グローバルMICE都市以外のMICE誘致・開催に能動的な活動を行っているモチベーションの高い都市に対して、海外有識者によるトレーニング及びコンサルティングを通じた支援を実施(支援都市:富山県、奈良県)

■国立京都国際会館の概要

- (1)所在地 京都市左京区岩倉大鷲町422番地(敷地面積 156,000㎡)
- (2)主な施設一覧

建築概要	構造等	竣工・開館年月	延床面積
本館	地下1階,地上6階,塔屋2階 (増築:地下1階,地上3階)	昭和41年5月	33,641㎡
イベントホール ロジック(宿泊棟)	地下1階,地上3階	昭和60年4月 昭和61年5月	8,608㎡
アネックスホール	地下1階,地上3階	平成10年3月	4,146㎡
ニューホール	地下1階,地上2階	平成30年6月 平成30年10月	4,527㎡

■国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	大会議場等収容数
日本	国立京都国際会館 ニューホール	2,500名
日本	福岡国際センター・マリメッセ	6,000名
日本	国立横浜会議場(パシフィコ横浜)	5,000名
日本	東京国際フォーラム	5,000名
アメリカ	ワシントン州立会議センター	7,500名
イギリス	アールズコートアンドオリムピア	22,000名
ドイツ	ベルリン国際会議センター	5,008名
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名
中国	香港会議・展示センター	8,000名
韓国	コエックス会議・展示センター	7,000名
オーストラリア	メルボルン国際会議場	5,500名

■(公財)京都文化交流コンベンションビューローの概要

- (1)設立 平成19年1月
- (2)主な事業
 - ・京都の文化・芸術の普及向上、及び国内外への発信
 - ・国際観光客の誘致推進、そのための広報宣伝
 - ・MICEの誘致推進、及び受入体制の整備促進